

超自然的な感覚

ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国

1959年12月27日夕刻

1 私は今朝もその祝福を楽しみにしています。ああ、非常に豊かに！ 私たちが集まったときに神が私たちのためにしてくださることは不明です！ 私たちがこの神への奉獻をしてから、そのことがここでどのように進んでいるかに気づきましたか？ 祝福の後の祝福、力の後の力、栄光の後の栄光！ 素晴らしかったです。そして彼はそうし続けるでしょう。これらのハンカチ、私はそれらがここに誰かが属しているなら、それらについて祈りました。

2 さて、ちょっとだけコメントしたいと思います。まず、あなたが私にくれたスーツの素敵なクリスマスプレゼントをありがとうございました。ネヴィル兄弟、それはあなたの中にあつたものでしたか？ [ネビル兄弟は言います、「はい、。はい、先生。】一着の服。なぜ、説教者はいつでも一着の服を使うことができます。「私にぴったり合つて」素晴らしい、それは良いことです。今、彼らは発汗し、その汗は私が知っている何よりも早く服を腐らせます、そしてあなたが見るように、そして説教者を保持するのにたくさんの服が必要です。そして良い服...本物の安い綿の布はほんの少しで腐ってしまいます。ですから、そのような良いスーツには多少の摩耗があります。

そして、考えてみてください。あなたはこれらの服を主の僕たちを支え、与えているのです。そして、主はあなたを祝福します。イエスは言われました、「あなたがこれらの私の兄弟たちの中で最も少ないことをしたのと同じように、あなたは私にそれをしたのです。」したがって、2人の牧師にスーツを購入したことはありません。あなたはイエスのためにスーツを2着購入しました。それが彼が「あなたは私にそれをした」と言ったことです。

3 しかし、今朝、その小さな天国のタッチに気づきましたか？ 祭壇への呼びかけも、何もありません。しかし、メッセージと人々を浴びる聖霊のさわやかさ、神の栄光が動いた直後に、彼らはただ上下に、あちこちに来て始めます。そして、ルイビルにあるウォルナットストリートバプテスト教会から、通路に立って、ただ神の力を浴びている、本当に良いバプテストの友人たちに気づきました。ああ、私の！ 私は礼拝の後で彼らに会いました。彼らは「それが神の力だ」と言いました。

私は言いました「そうです 確かに正しいです。」

神の力！ そして、あなたは言うべき言葉を見つけることができません。あなたは何を言うべきかわからないだけです。聖霊はただ集会を開くだけで、あなたは彼がそれをどうするのか分かりません。静かに、優しく、謙虚に、バラバラに。ああ、パット兄弟、それは私にとってただの天国です。私はその感覚が好きなこれらの昔ながらのタイプの1つにすぎません。

4 故ポール・レーダーのように、彼は彼に言いました...ある時彼は話をしていました。そして彼は彼と彼の妻がテーブルに座っていると、そして彼女はどこかに行きたいか何かをしたいと思っていました、そして彼は彼女に「私はそれをするのができない」などと言いつづけました、そして彼は彼女を切るでしょう少し短い。

それで彼は彼女を見回しました、そして涙が彼女の頬から降りてきていました、そして彼は彼女に言いました、「まあ、今」と彼は心の中で考えました、「彼女がそんなに傷つきやすいなら、ただ彼女を傷つけたままにしておいてください。」それで彼は、男性のように、紙を折りたたんで皿に置いたように。

5 そして彼女はいつもドアのところに立ち、彼にさようならのキスをしました。そして、彼が門から出たとき、彼女は彼に手を振って、それから彼が彼のオフィスから戻るまで、それはその世話をしました。

そしてその朝、彼らが始めたとき、なぜ、...ドアのところに、なぜ、彼女はドアのそばに立っていたのかと言いました、そして彼は彼女にキスをして門の端から出て行き、門を開けて振り返ると、彼女は頭を下げてドアのところに立っていましたが、まだ痛いのです。彼はさようならと手を振ったと言った、彼女はさようならと手を振ったと言いました。

6 彼は通りを歩き始め、「もし私が家に帰る前に何か私に起こったら、あるいは私が戻る前に彼女に何か起こったらどうなるか-神が私たちに電話してくれるだろう」と考え始めたと言いました。オフシーン-そして彼女が今までと同じくらい良い女性、そして彼女がどれほど優しいかなど？」そして、彼が遠くに行くほど、彼の心はより腫れ始めると言いました。

それで彼はただ振り返って逃げ、門を開け、家の中を走り、ドアを開けました。そしてドアを開けると、何

かが泣いているのが聞こえました。周りを見回すと、彼女はドアの後ろに立っていました。彼は決して「許して」とは言わず、「お詫びします」とは言わず、何も言わなかった。彼はちょうど彼女をつかんで再び彼女にキスをし、振り向いて戻ってきたと言った。彼が門に出たと言って、彼女は再びドアのところに立っていたと言いました。彼は「さようなら」と言いました。そして、彼女は「さようなら」と言いました、彼女が最初にしたのと同じように、しかし最後にそれに感じがありました。

だから、それはそうです。それがその中に感じを持っているとき、あなたはそれが本当に神からのものであることがわかります。

7 さて、少し前に、新しいトラステイーであるソスマン兄弟が指名されました。評議員会は、今、会計年度末、1月1日、牧師や執事など教会のすべての役職が満了することを知っていると確信しています。それから彼らが続けたいのなら...牧師ではありません。私はそれを意味していませんでした。私は、トラステイー、執事、日曜学校の教師などを意味していました。牧師は教会によって選出され、彼は...までとどまります。そして、人々、現在の評議員会、または執事、または日曜学校の教師、あるいはそれ以上の場合、彼らが続けたいのであれば、彼らはただ続けます。そうでない場合、続行したくない場合は辞任する必要があります。そして彼らに反対するものは何もありません。それから彼らは来年も続けます。そして、彼らが続けない場合、彼らは選挙を行い、他の受託者、またはその役職が何であれを任命します。

8 したがって、役員上で奉仕することは、彼の生涯に男性を固定することはありません。しかし、神が彼と共におられ、彼を助けていると感じ、神の働きを続けるために彼が自分の役割または彼女の役割を果たしたいと思っている限り、私たちは彼らに仕えることを常に喜んでいきます私たちと一緒に。しかし、そうすることで、1年間奉仕し、彼らがそれをどのように好むかを見る機会が与えられます。私たちの受託者の何人かは何年も何年も何年も留まり、そして執事もいます、そしてそれは全く問題ありません。しかし、その場合、決まった時間はありません。受託者、牧師、または理事会の誰かが、彼らがもはや奉仕したり、引越したりすることができなと感じた場合、彼らは教会に誰かを彼らの代わりに連れて行くことができると通知するだけです。

9 そして、それが今夜ここで起こったことであり、モーガン兄弟、ウィリアム・モーガン兄弟が受託者(トラステイー)として辞任しました。彼らは別の受託者を必要としていました。そして、ソスマン兄弟は別の時に受託者として任命され、今夜理事会に受け入れられました。

教会である限り、それは公式です。私たちの教会では、それは教会の主権です。教会は、牧師を動かしたり、受託者を入れたり、牧師を動かしたり、牧師を入れたりします。それが何であれ、それはすべての教会です。それは使徒的です。それが聖書の時代に行われた方法です。ですから、教会の中で独裁者や何かをしている人は誰もいないと私たちは感じています。私たちはそれを望んでいません。すべての人、すべての人、私は、誰にでも投票することで、この教会の他の人と同じように、たった1つの投票を得ました。それは私が言うことではありません。それは教会が言うことです、ほら、教会が体の中で言うことです。あなたはそれが好きですか？ ああ、それはただの聖書だと思います。それが本来あるべき姿です。

10 さて、これは私にとって素晴らしい週になるでしょう、来て、明日、主が喜んで。私は来年の決断をしなければなりません-すべての招待状をもって。私はオフィスに出て、すべての招待状を受け取り、家に持ち帰りたいです。ですから、次の数日間、私は祈りに行き、神に行き、神が私を導き、どちらに行くべきか、何をすべきかを教えてくれるように祈ります。私たちは、神がここにいる、神が彼を場所から場所へと導き、彼が数時間町にいて別の都市に行ったときのような時代には生きていません。しかし、今日では別のシステム上にあります。それは設定です:ミニスターのグループと多くのことをしなければなりません。

11 そして、私はそれを行う方法で、すべてのアフリカの招待状、すべてのインドの招待状、すべてのカリフォルニア、ユタ、およびすべての異なる招待状を持ってきて、それらを別々に積み上げます。私は彼らを寝かせます。それから私は歩いて祈りに行きます、多分私の車に乗り込んで1日か2日行ってしまいます。戻ってきて、祈ってください。ある場所に行くために何か私の心に浮かび、それがただの印象であるかどうかわかります。それから、その後、とても感動した場合は、この特定の場所があるこの山に行き、手紙を受け取って、招待状を読んで、それがどこにあるかを確認します。そして、そこから…。

12 これが私がそうする理由です。あなたが海外に乗ったことがあるなら、あなたは飛行機に乗って、嵐の中、そして上下に、そして周りに約72時間乗ることを考えます。時々あなたが上がっていること、時にはそれが下がっていること、揺れていること、揺れていること、そして雲の中やその水の上を3日間と夜の間ピッチングしていることを知らないでください。それからあなたは土地に降りると、最初にあなたに会うのはサタン

です:「まあ、ミニスターグループはこれを言いました、彼らのいくつかは投票で分かれました、そしていくつかは....」

ほら、あなたはこれを言うかもしれませんが、「まあ、多分主は私が来ることを望まなかったでしょう」。

しかし、あなたが神から遣わされたとき、あなたは敵に会う準備ができています。あなたは言います、「私はイエス・キリストの名においてここに足を踏み入れます。私は主イエスの御名によって来て、主の働きが成し遂げられるまでここにとどまります。」ほら、それならあなたは力に会う準備ができています。

13 だから、あなたは私を愛しています。私はあなたがそうすることを知っています。ですから、今週私のために祈ってください。私が正しい決断を下し、神の靈感によって私を導いてくださいますように。

今、私はいくつかの小さな(私が言うところの、小さな)ジャンプミーティングをするつもりです。私は今月の8、9、10日にフロリダに行きます...または、ジョージア州のティフトンに行きます。ジョージア州ティフトン、1月8日、9日、10日、今月の代わりに言うつもりでした。そして、ケンタッキー州グラスゴーに行かなければなりません。そしておそらくケンタッキー州サマセット。そしてある夜、そして多分ケンタッキー州キャンベルズビル。そして、ロジャース兄弟は私がある夜彼の場所に来ることを望んでいました。

14 さあ、ロジャース兄弟のために祈ってください。今日は交わりをしていたのですが、私は彼の手を握って、体調が悪いのを見つけました。だからここでロジャース兄弟のために祈ってください。彼はそこで多くのことを手に入れました、そしてそれは彼を緊張させて動揺させました、そして彼は今かなり悪い健康状態にあり、そして彼の妻は非常に悪いです。ですから、その小さな夫婦、神の立派な子供たちのために祈ってください。そして私は彼に、主の御心ならば、私は彼に夜を迎えるだろうと言いました。

15 そして、私たちの妹の教会の1つであるラデル兄弟は、ここ62日に、恥ずかしがり屋の老人がここにやって来て、見上げることさえできませんでした。そして彼はその家にやって来ました。そして、ああ、人々は彼が普通の害虫だと思っていたと思いますが、その少年には本物のように見える何かがありました。私はただ彼と一緒にいて、彼と一緒にいて、「ラデル兄弟、あなたにはできます」と言いました。

彼は言いました、「ブランナム兄弟、私は群衆の前に起きて、私の心は私の喉に上がります、そして私はただ一言も言えません。」

私は言いました、「そこに立ってそれを飲み込み、主の御名によって語ってください。ほら」そして今、彼はこれと同じ大きさのタバナクルを持っており、この高速道路で何かをしているだけです。それにとどまりなさい。その少年は神の呼びかけをしました。私は彼の父と母を知っていました。彼らはとても立派な人たちです。

16 そして、ある夜、ニューアルバニーでジュニーを迎える必要があります。そして、ああ、ご存知のように、ほんの少しの会議で、私はここで夜を過ごすことができます。

すべてが予定通りに計画されていれば、1月25日頃まで、私はマイアミに向けて出発し、全福音クリスチャンビジネスマンの世界国際大会に向かいます。そしてそこから、ハイチのキングストン、南アメリカ、そしてメキシコを通ります。そしてそこからアフリカへ。アフリカからスカンジナビアへ。などなど。今年の大部分は海外の集会で取り上げられると思います。だから私のために祈ってください、私は正しい決断をしなければなりません。

17 さて、それはそれが主の御心である場合に限りです。そうでなければ、私はどこにでも、どこにでも行きたいと思っています。どこにいても構いません、行きたいです。しかし、神が私を入れてくださったこの地球のほこりの中に立つことができる限り、死が私をこの体から連れ去るまで、私は彼の探求できない富を説教したいと思っています。神が私を助けてくれるだけなら、それは神の恵みによる私の決意です。もし彼が私から手を離すと、悪魔が私を殺すので、あなたはただ神が彼の憐れみの手を私に守ってくださるように祈るだけです。

私は彼の正義を求めているわけではありません。私は彼の憐れみを求めています。彼の正義、いや、私はそれに耐えられなかった。私は自分にはふさわしくないことを知っている、彼の憐れみだけが私が懇願していることです。誰もいない。そして、私たちは彼の正義を求めないほうがよいのです。私たちは彼の憐れみを求めています。

18 さて、今夜は少し声がかかっていますが、この素晴らしいクリスチャンのグループと話す機会を断ること

はできませんでした。ちょっと待つて、この発表をする直前に、一つだけ言わせてください。皆さんが今、一つの心の中にあり、一つの一致で、そしてすべてが順調に進んでいる間に、私の教会にほんの2分間の話をさせてください。

19 聞いてください、福音の中の私の最愛の人、私の王冠の中の星、もし私が持っているなら、イエスの血の購入。私は目的のためにこれをしました、このように戻ってきてください。私たちは狩猟旅行で、ロイ・ロバーソン兄弟、バンクス・ウッド兄弟、そして私が旅行中に戻ってくることができると決めました。ロイ兄弟と私たち全員が、牧師であるネヴィル兄弟について話していました。ネヴィル兄弟はいつもあなたの前にいて、牧師やすべてのことをしています。私たちは彼を愛しています。しかし、それでも、ネヴィル兄弟が共同牧師であるため、ネヴィル兄弟がそれに押し出さなければならないのは少し難しいようでした。それで私たちは祈りました、そして私がそれをするのは主の御心のようでした。さて、私は主に助けてくれるかどうか尋ねました、私は最善を尽くします。

20 そして、私自身の奉獻をした後、そして教会にそうするようにさせた後....さて、もし神が最後の数回の集会で彼が持っている方法を私たちに祝福してくれたなら、その小さな奉獻で、私たちがそれを続けたら彼は何をしますか、ほら。ただそれを続けてください。今聞いてください。あなたはお互いに恋をしています。今朝、そして今週、あなたが神に手を差し伸べ、素敵な御霊があなたの上を動き回っているのを私はどのように見えていますか。

さて、あなたは悪魔が言わなければならない一つの悪いことを聞いてはいけません。悪魔があなたに何かを見せたり、キリストの体のメンバーの一人について何か悪いことを言ったりしたら、あなたはそれを信じないでください。なぜなら、あなたがそれを信じるとすぐに、あなたはあなたの経験を損なうからです。

21 そして、キリストの体のメンバーの一人が何か悪いことをしているのを見たとしても、他の誰にも言わないでください。しかし、愛を込めてそのメンバーのところに行き、彼らを再びキリストに戻せないかどうかを確かめてください。そして、あなたがそれをするのができないならば、それから一人に言うか、彼らをあなたと一緒に動かしてください。聖書が言うようにそれをしてください、見てください。

誰かが「あれこれ姉妹、またはあれこれ兄弟」と言ったら、あなたはそれの一言を信じないでください。あなたはそれを手放すだけです。覚えておいてください、それは悪魔があなたをバラバラに引き裂こうとしているからです。彼がそれをするので、今、彼が入ってくるのをただ探してください。今、あなたは家の善人、信仰をそこに立たせ、一つのことを受け取らないでください。これらの人々はあなたと一緒に天国の場所に置かれ、神の祝福の周りで一緒に交わり、食卓で交わりを取り、聖霊は彼らが神の子供であることを目撃しました。だから、本当に優しく、親切で、寛容で、愛情深くなりましょう。そして、他の人があなたに対して悪口を言うなら、あなたは彼らに対して甘い話をします。その時あなたにどれほど甘くなるか見てください、見てください。そうです。ただ常に悪のために善を返し、憎しみへの愛を返します。そしてただ....

22 あなたは気分が良くなっていますか、愛する人よ、後ろの小さな女の子？ それは良いことです。とても感謝しています。ええ、ちょうど戻ってきました....彼女は結び目でそこに戻って倍増しました、そして主イエスは今彼女を連れてきて、会議に彼女を提示しました。とても感謝しています。それは私が少し前に説教壇を去ったものです。彼らは祈って祈っていたが、主に通じることができなかったと言った。

さて、必ずそれを行ってください。「神様、あなたの恵みによって、それが私がすることです」と神に誓います。誰かがいつ悪を言っても、善を返しなさい。悪とは思わないでください。あなたが悪を考えていて、偽善的にそれを言っているだけなら、あなたは間違っています。あなたはその人に本当に気分が良くなるまで、ただ自分を神に奉獻し続けます。それがその方法です。そうすれば、神の祝福の甘さがあなたの魂を覆ってくれるでしょう。それが勝利を取める方法です。あなたが恋をしている限り、何もあなたに害を及ぼすことはありません。さて、あなたは言う...

23 「異言があれば、異言はやむ。」を参照してください。そして、あなたが知恵があっても、それは消えます。預言も、それは失敗するでしょう。しかし、あなたが愛を得たとき、それは永遠に続くでしょう」と見てください。

そして、あなたを愛している人だけを愛するのではなく、あなたを愛していない人を愛してください。なぜなら、私を愛している人を愛するのは簡単ですが、あなたを愛していない人を愛するようにしてください。ここで、自分がクリスチャンかどうかをテストできます。あなたを愛していない誰か、それでもあなたの心の中で、あなたは彼らを愛しています。さて、あなたがそれをしなければ、ただ神を握り続けてください。私はそれ

が真実であることを知っているのです、そこにあります。アーメン。私はそれが真実であることを知っています。

24 さて、ヘブライ人への手紙の11章、短いメッセージのために、貴重なみことばを開いてみましょう。少しぼんやりしていましたが、兄弟姉妹と素晴らしい午後を過ごしました。そして、6時近くまで入ることはありませんでした。私は部屋に駆け込み、ベッドの横、寝室でひざまずき、しばらくの間祈りました。起きて、私の聖書を手に取り、読み始めました。そして、そこに雑誌が置かれているのを見て、それを手に取って、それはアフリカンス語で書かれていたので、それを読むことができませんでした。

そして時々、読んでいるときに、あなたは言葉を打つでしょう、そしてその言葉はあなたに生きるようになります。それが牧師が彼のメッセージを得る方法です。ただ、聖書を読み始めてください。あなたが最初に知っていること、あなたは何かを打つ、それから何かはその何かに追加する、何かはその何かに追加する。次に、下線を引き、説教壇に行つて読んでください。残りは神がなさるのです。ほら、彼が残りの面倒を見るでしょう。

さて、あなたが少し考えをするまで、時々あなたはとても夢中になります...あなたが考えた考えの小さなメモ。時々、あなたがすぐにプラットホームに来なければならない集会で、あなたが持っていた小さな考えを彼らに読み返すだけで、聖霊が彼らを再びあなたに急いでくれるかもしれません。その多くは時間です。

25 さて、ヘブライ人への手紙第11節から始めましょう。最初の節を読みましょう。かなりの数の節を読みま

さて、信仰とは、望んでいる事がらを確認し、まだ見ていない事実を確認することである。

昔の人たちは、この信仰のゆえに賞賛された。

信仰によって、わたしたちは、この世界が神の言葉で造られたのであり、したがって、見えるものは現れているものから出てきたのでないことを、悟るのである。

信仰によって、アベルはカインよりもまさったいけにえを神にささげ、信仰によって義なる者と認められた。神が、彼の供え物をよしとされたからである。彼は死んだが、信仰によって今もなお語っている。

信仰によって、エノクは死を見ないように天に移された。神がお移しになったので、彼は見えなくなった。彼が移される前に、神に喜ばれた者と、あかしされていたからである。

信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自分を求める者に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。

信仰によって、ノアはまだ見ていない事がらについて御告げを受け、恐れかしこみつつ、その家族を救うために箱舟を造り、その信仰によって世の罪をさばき、そして、信仰による義を受け継ぐ者となった。

26 さて、ちょっと祈るために、頭を下げましょう。

私たちの最も恵み深い神であり父である主よ、私たちは今、感謝の気持ちを込めて再びあなたの前に来ます。そして、私たちは頭を下げたためにあなたの前にいると感じているだけでなく、「主の目が地球を歩き来しているので、私たちは常にあなたの前にいると信じています。」そして、あなたはすべてのことを知っています、そしてあなたは心の考えを知っています。

ですから、主よ、私たちが頭を下げる理由は、この嘆願書に、あなたが私たちのすべての不法侵入とあなたに対する違反を許してくださり、あなたの憐れみがもう一度私たちに与えられ、あなたが私たちを開くようにとお願いするためです。今夜、話す唇と聞く耳、そしてあなたの言葉が私たちに現実のものとなるように。私たちが読むことを選んだこれらの数節が、地球上のあなたの神秘的な体、あなたの霊的な教会、長子の教会、イエスの血によって買われたその教会のすべてのメンバーにとって大きな助けになるかもしれないということです。洗われて聖別され、傷やしわもなく、その日に神に差し出されます。私たちの主イエスの義と憐れみを通して、私たちがこの神の善に加担していると信じる信仰を持つために、私たちはあなたにどのように感謝することでしょうか!

27 あなたがすべての病気を癒してくれるように今祈っています。ほんの少し前にその少女に触れてくれてありがとう、痛みからその部屋に二倍に横たわっていた。彼女が出て行って、その小さな子供のような信仰、そしてあなたとあなたの憐れみを受け入れるのを見てください。そして、私たちはあなたにこれを感謝し

ます。そして、あなたがケンタッキーでベイカー姉妹の小さな愛する人、ネビル兄弟が話した人、そして神よ、至る所にある無数の病人の陣営を覚えているように祈りましょう。そして特に、主よ、救われておらず、あなたを知らない人々。もし彼らが彼らの罪で死ぬなら、彼らはあなたがいるところに来ることができません。

私たちは、あなたが私たちに証しと力、みことばを話す大胆さ、そしていつそれを話すかを知る知恵を与えてくださることを祈ります。そして、私たちが十分に言ったときに私たちに話しかけてください。そうすれば、私たちは立ち去って、人々を驚かせ、偉大な聖霊と彼の働きに驚かせることができます。主よ、それを叶えてください。今私たちの言うことを聞いてください、私たちはイエスの御名によってそれを求めて祈ります。アーメン。

28 感覚について少しお話したいと思います。私たちは、自然、人には五感があり、それらの五感が彼を支配していると教えられています。聞いてください。自然人に知られているこれらの五感、そしてそれらは良いものであり、これらの感覚の一つが行動に失敗したとき、私たちは通常の生活を営むことも生きることもできません。あなたの視覚、聴覚、感覚、匂い、または味見、私たちはそれらなしでは正常ではありません。その感覚が行動しなければ、私たちが接触できない何かが欠けている、人生の一部があります。そして、それらは良く、有用であり、神から私たちに与えられたものです。

29 神がそれらの感覚を与えました、しかしそれらは賜物としてあなたに与えられます。そして、それはあなたがどのように...あなたがこれらの感覚を何に与えるかに依存します、あなたの人生が制御される方法、あなたがそれらの五感を生み出す方法になります。あなたが見るもの、聞くもの、味わうもの、匂いを嗅ぐもの、感じるもの、それらの感覚が何に与えられようとも、それらはあなたを支配します。

そして、私たちは五感を持っていることを神に感謝していますが、これらの五感があなたを導くためにあなたに与えられたわけでは決してありません。彼らは地上との接触のためにあなたに与えられました。しかし、あなたに第六感が与えられました、そしてその第六感はクリスチャンだけのものです。そして、あなたがクリスチャンになるまで、あなたはこの第六感を持つことはできません。自然な人のために5つ以上の自然な感覚を持つことができる唯一の方法です。第六感は、クリスチャンには信仰としてよく知られています。それはあなたを支配し、導くものであり、他のすべての感覚よりも優れています。それはすべての感覚、他の五感よりも優れています。

30 さて、第六感を受け取っているからもう5感はいらないという事を言っているわけではありません。はい、そうです。それらの五感は神から与えられたものであり、使われるべきものです。しかし、五感が神の言葉に反して行動するとき、彼らは嘘をつきます。

さて、第六感は嘘をつくことは出来ません。それは超感覚です。そしてそれが私が話したいことです。今朝私は話しました:超印。そして今夜:超感覚。

31 そして、超感覚は聖霊、あなたの内に宿る神の信仰です。そして、もしあなたが五感を第六感に委ねるなら、それはあなたを導き、他の五感すべてをその超感覚の制御下に置くでしょう。なぜなら、霊的な人は自然よりも上にいるので、それは自然の感覚よりもはるかに上だからです。それは天と同じくらい高く、自然人と彼の五感よりも高いです。見えないものを信じさせます。それはあなたが五感がそれについて考えるとは思わない場所で行動させます。悪魔はこれらの五感に入り込んであなたに嘘をつくことはできますが、その超感覚に触れることはできません。それは彼の手の届かないところにあります。それは神から来ています。それは信仰と呼ばれています。信仰はその素晴らしいことです。

32 そして、五感は第六感を制御しませんが、第六感は五感を制御します。超感覚が自然感覚をコントロールします。そして五感は、見る、味わう、感じる、嗅ぐ、聞くことです。そして、超感覚はあなたに神の言葉を信じさせる何かです、なぜならそれがそれが話す唯一のことだからです。そして、それは神の言葉を必要とするので、あなたが見ることも、味わうことも、感じることも、嗅ぐことも、聞くこともできないことを信じさせるでしょう。そして、それはあなたにそのみことばを届け、神のことば以外にあるものに反してあなたを歩かせます。信仰によって、信仰はそれを行います。

33 さて、この感覚の実例を与えることで、自然の人はこれらの感覚で生まれるので、それらは自然から与えられた感覚です。そして、それは彼の知的思考において、彼がそれについて知ることになる唯一のことです。彼は人間としてしか考えることができず、人間として見ることができ、人間として理解することができます、人間として聞くことができます。しかし、彼が統治されるか、再生されるか、または私たちがそれを「新たに生まれた」と呼ぶとき、その第六の、超感覚が彼をつかまえます。そうすることで、その超感覚は、彼が聞くこと

ができなかったもの、彼が見ることができなかったもの、彼が理解できなかった理解を信じる信仰を持っている場所に彼を引き上げます。彼はとにかくそれを信じています、なぜなら彼はその第六感、その超感覚に支配されているからです。ああ、それを知っていること、そしてそれを信じることがどれほど簡単であるかを考えることはどれほど素晴らしいことでしょう！

34 今、あなたは再生されるまでそれを信じることができません。聖書は、聖霊によってのみ、誰もイエスをキリストと呼ぶことはできないと言っています。私たちは先週それを経験しました。そして、特にペンテコステ派を信じる人々が私がそう言うのを聞いたとき、それはそのようにつまずきでした。イエスは、ヨハネによる福音書第5章24節で、「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした方を信じる者には、永遠の命がある」と言われました。永遠の命は神だけから来ます。「そして、聖霊によってのみ、イエスがキリストであると言うことはできません。」

あなたは他の誰かが言ったこと、あなたが知的によって学んだこと、あなたが自然な五感によって学んだことだけを取っているのです。しかし、第六感、聖霊が来ると、それはこれらの六感のすべての推論を取り除きます...五感、そしてあなたをその第六感に引き上げ、あなたが見ることができないものを信じさせ、味わう、感じる、においがする、または聞く。それはあなたに何かをします。そうすれば、あなたはそれを目撃したので、イエスはキリストであると言うことができます。知的教育があなたに教えたことではなく、あなたが経験したことです。

35 「その時、ブラナム兄弟、第六感は何ですか？なぜ第六感が来るのですか？」

第六感はこの理由で来ます。さて、第六感とは信仰、超感覚です。さて、第六感はこの理由のためだけに来ます。つまり、あなたの五感が神の言葉に反することを否定するためです。それが第六感です。聖書は推論を捨てることについて語っています。

....ほら、五感は....「さて、今、なぜこの男が、そしてなぜ...？」と推論することができます。

しかし、第六感とはそれをまったく見ていません。それはそれをはるかに超えています！理由がまったくなくなるまで、それはそれよりもはるかに高いです。「私たちはそれを信じています！」それは五感がそれについて言わなければならないことをはるかに超えています。これで、ヒーリングサービスの準備が整いました。を参照してください。私たちはそれを信じています！あなたはその第六感によって歩き、その第六感によって話し、その第六感によって生き、その第六感によって死に、そしてその第六感によって立ち上がるのです。その超感覚、あなたの中にある何か、それは自然の人から来るものとは違うものです。

36 自然人はこれらしか持っておらず、第六感に服従させることができれば大丈夫です。自然の心が...神の言葉を読み、「それが神の言葉です」と言うなら、それは真実を語っています。しかし、それを読んでこう言うと、「それはすべて神の言葉ではありません。または、それは...それは何かです...それは一度でしたが、今はそうではありません。」それからその第六感が入り、「彼は昨日も今日もいつまでも変わらない」と言います。ほら、それが違います。

だから多くの人が癒されないのです。彼らは知的概念を持って来ようとしています。彼らは、「ああ、私はこれをする、または私はこれを信じる、など」と言います。

しかし、その第六感がそれを言っているなら、その第六感から彼らを揺さぶることは決してないでしょう。

37 第六感とは、神の言葉に反することを否定させるために人間にやってくるのです。神の約束に反するどんな症状でも、第六感とは、クリスチャンが新たに生まれたなら、それはそこにはないと言います。

そして、あなたが最初に知っているのは、不信心で不信心な人がクリスチャンのところに行き、こう言います。その点で、あなたはただ間違っています。あなたがそのようなものを信じるなら、あなたは狂っています。そのようなものはありません。」

その第6の感覚はすぐに機能します。

「あなたが聖霊を受けることができない聖書の中であなたを見せましょう。ほら、弟子たちがどこで手に入れたのか見せることはできますが……」

「まあ」とあなたは言います、「見てください」、第六感とはあなたを指し示し、「しかし彼は言った、『約束はあなたとあなたの子供たちにある』」。

「まあ、それは彼らの子供たちを意味しました。それは...それはあなたにとって意味がありませんでした。それはあなたのためではありません。」

しかし、その第六感をよく知っています。なぜですか？それはすでにあなたの中にあります。彼らはそれを遅すぎると言いました。あなたはすでにそれを受け取りました。

38 聖霊のようなものはないと話す人々は、彼らが何について話しているのか分かりません。

少年のように、かつてリンゴの皮をむいて、異教徒から尋ねられ、ある集会について議論しました。彼は「ここに何が欲しいの？」と言いました。

彼は「あなたに質問したい」と言いました。彼がリンゴを食べて楽しんでいる間、非常に単純な、ある種の...は、髪が顔にぶら下がっていて、前に1本の歯がある、滞納者のように見えました。全体的に古くて汚れたジャケットを着ています。彼は「私があなたに聞きたいただ一つの質問」と言いました。

不信心者はちょうど言いました、「神のようなものはありません。それはすべて感情です。それにはナンセンスがあります、それだけです。」

そしてその少年は言いました、「ミスター、あなたに質問したいのです。このリンゴは甘いですか、それとも酸っぱいですか？」

彼は言いました、「まあ、どうやって知るの？ 私はそれを食べていません。」

彼は「それは私が思っていた通りだ」と言って、すぐに戻ってきました。

39 主を味わっていないのに、どうやってわかるのでしょうか？ 聖霊を受けたことがないとき、彼が本物であるかそうでないかをどうやって知るのですか？ それが信仰と力であるかどうかをどうやって知るのですか？ あなたがそれを見たことがないのに、言葉にできないほどの栄光に満ちた喜びがないことをどうやって知るのですか？ 第六感あなたをそれに導きます。第六感あなたにそれを宣言します。

知的力はまったくそうではありません、あなたにそれをもたらすでしょう。知的な力は推論し、こう言います。「なぜ、それは心理学なのです。それはこのようなものであり、人々の感情です。」

しかし、第六感が来ると、それはそれらすべてを否定し、人を神の懐にまっすぐに動かします。「神に来る者は、神がおられ、熱心に神を求める者に報いを与える方として信じているのです。」

40 信仰によって！ 信仰によって、アブラハム！ 信仰によって、イサク！ 信仰によって、ヤコブ！ すべて信仰によって！ それをするのは第六感です。第六感は、すべての症状、神の言葉に反するもの、感情、感情を否定します。

誰かが言います、「ああ、まあ、私は祈られました。でも、気分が良くなることはありません。」

第六感はそのために決して立ち止まることはありません。第六感は、「それは嘘です！ 気分が良くなりました。元気になっています。神はそう言われました。それで解決します。アーメン！ 神はそう言われました。」第六感神の言葉によってだけ養われるのです。

41 その超感覚、それは感覚を超えたものなのです。それはより大きな意味です。それは信仰です。それははかき混ぜて動かす力です。アーメン。それはあなたがあなたがするだろうとは思っていなかったことをあなたにさせる何かです。それは第六感、超感覚です。

あなたは祈られます。あなたが不自由な手を手に入れ、祈られたとしましょう、あなたの手、あなたはここに来て、神があなたを癒してくれると信じています。牧師はあなたのために祈ります。あなたは戻ります。老人はこう言います。「あなたはその手に何の違和も感じません。あなたは今までよりも良くはありません。」しかし、第六感がやって来て、「それは嘘です！ あなたは祈られてきました。それで解決します。」アーメン。

42 一度私たちの集会に来た女性のように、彼女は二人で集会に来ていました。彼らはプラットホームを横切った。彼らはその識別を見ていました。それらの女性はちょうど飲み込まれました。彼らは両方とも本物のクリスチャンでした。一人がやって来て、御霊が来て、「あなたは胃の問題で苦しんでいます」と言いました。

そして彼女の顔が明るくなった。彼女は「それは本当です」と言いました。

そして聖霊は私を通して言いました、「そしてそれは潰瘍です。神経質な状態が原因です。あなたはある医者によって診察を受けました、そして彼はあなたができないと言いました...または、あなたは手術を受けなければならなかった、それを切り取らなければなりませんでした。」

彼女は「その言葉はすべて真実だ!」と言いました。

そして、彼女がとても偉大な信者であるのを見て、「あなたの名前は何某さんです、あなたはどこそこと呼ばれる、そしてそのような場所から来ました」と言いました。

彼女は「それが真実だ!」と言いました。

それは何でしたか? それを捕まえる第六感。第六感と聖霊が並んで立っていました。聖霊が話していました。第六感「アーメン」と言っていた。そういう事です。なにかが起ころなければならぬのです。

43 マルタがイエスを見つけるために走り出したとき、そして彼女が「主よ!」と言ったとき。第六感を見てください。「もしあなたがここにいたら、私の兄弟は死ななかつたでしょう。しかし今でも、あなたが神に求めるものは何でも、神はそれをあなたに与えるでしょう。」第六感があります。

イエスはご自身を引き寄せて言われました、「私は蘇りであり、命である。私を信じる者は、死んでも生きるでしょう。私を生きて信じる者は決して死ぬことはありません。これを信じますか?」

あなたは何を言うつもりですか、推論しますか? そこに横たわっている死んだ男がいて、虫が彼の中を這っています。

44 しかし、彼は彼が復活であり命であると言っただけでした。それが神の言葉です。その第六感、医師のケアを超えて、科学研究の考えを超えています。すべてに逆らい、すべての推論に逆らい、それらを捨てる。なぜですか? それは神の言葉を証しています。私は午前です。私はそうではありません。私は今です! 私は復活であり命です。わたしを信じる者は、死んでも生きる。そして、私を生きて信じる者は決して死ぬことはありません。あなたはこれを信じますか?」

彼女は言いました、「主よ、(第六感)、私はあなたが神の子であると信じています、それはこの世に来るべきです。」

「あなたの兄弟は再び立ち上がるでしょう。」ああ、何と!

45 彼らは墓に行きました! それら2つは、一緒に、何かが起ころなければならぬませんでした。それは超感覚でした。神が立ち会って、何かが起ころなければならぬませんでした。超感覚は、神でした。マルタにそれを告げる何かがありました。彼女は彼を見ていました。彼女は彼を知っていました。彼女は彼がまさに救世主であることを認めました。そして彼女は、もし彼女が彼にたどり着くことができれば、彼女が彼に近づいて事件を提示することができれば、ただ一つの約束が彼から来るのを聞くことができれば、それが彼女が望んでいたすべてであることを知っていました。彼が言ったとき、「私は蘇りであり命である。私を信じている彼は死んでいたのに」とマルタは聞いたのです。彼女が望んでいたのはそれだけです。なぜなら、第六感、超感覚、彼女の信仰が、彼を告白するように彼女を動かしていたからです、彼を信じてください。

46 この女性は、彼女がプラットホームを去ったとき、それは「主はこう言われました、家に帰って食べなさい。イエス・キリストはあなたを元気にします。」彼女は家に帰った。

その夜、近所に住んでいる彼女の友人が彼女の後ろに3番目か4番目にいて、彼女は首に大きな結び目を持っていました。そして、ここに来ると、隣人に興奮し、彼女をととても悩ませていた潰瘍が癒されることになりました。これは数百、数千のケースの1つでした。そして、この大きな結び目が彼女の首に突き出ている、彼女は現れます。私は言いました。「誰もそれを見分ける必要はないでしょう。しかし、あなたは何かに満足しています。向こうに座っているその女性はあなたの隣人なので、あなたはわくわくしています。」

47 聖霊! 彼女は考えました。「いったいどうしてあの男はそれを知ることができたのだろうか? それは彼にそれを明らかにする何かでなければなりません。」

それで、それが言われたとき、それは「あなたはあなたの首について考えている」と言いました。

「はい。」

「あなたはそれが去ると信じますか？」

「私はそれを信じています」と彼女は言いました、「心から」。

私は言いました、「主はこう仰せになられる、家に帰ればあなたは癒しを受けるでしょう」。

自然な人は周りを見回し、兆候を見ることができませんでした。潰瘍のある女性は家に帰って食べようとした、そして、私の、彼女は死ぬのが好きでした。ああ、自然な人、自然な感覚、感情はまだそこに潰瘍を宣言しました。

48 それで、約一週間か二週間が経過した後、彼女は近所を通り、彼女のすべての人々と教会に行き、「主が私を癒してくれた」と証言しました。

そして彼らは「あなたは今食べていますか？」と言いました。

「いいえ、私が望むすべてではありません。しかし、彼女は言いました、「私はすでに癒されています。彼の縞模様によって私は癒されているからです。」それが何であれ、彼女はとにかく癒されました。

ある朝、子供たちは学校に行っていて、彼女は本当にお腹がすいた。彼女は窓際に立って皿を洗っていました。彼女はその集会に来ました。約1年後に別の集会になりました。そして、彼女は皿を洗っていました、そして、最初に、彼女は本当におかしな気持ちが彼女の上に行くのを感じました。そして彼女は思いました、「それは何でしたか？ 悲鳴を上げたかのように感じました。」

49 そして彼女の夫は彼女に言った、「ハニー、あなたはその癒しについて話すのをやめた」と彼はクリスチャンでしたが、「あなたは大義に非難をもたらしているのです」と言いました。

あなたが彼の言葉を証言しているとき、どのようにあなたは非難をもたらすことができますか？ あなたがそれに証言しなければ、あなたは非難をもたらすでしょう。

「あなたが癒されたら、あなたは癒されました」と言いました。

彼女は言いました、「その男は立って私を目を見て、私の状態と私がしたこと、私が誰であるか、そして私がどこから来たのかを私に話しました。」彼女は言いました。「彼がプラットホームに来たとき、私は建物に15分もいませんでした。この男はいったいどうやってそれを知ることができたのでしょうか？ 私は私の人生で彼に会ったことがなく、彼は私に言った、「主はこう言われます、あなたは癒されました」そして彼女は「私が死ぬまでそれを信じます」と言いました。彼女は「とにかくそれを信じます」と言いました。それで、彼女と彼女の下にいる彼女の姉妹、友人は、彼らがその信仰を保持するように神と契約を結んでいました。

50 その朝、彼女は本当におかしいと感じ、数分でお腹がすいた。それで、子供たちは皿、小さな皿にいくつかのオート麦を残しました。そして、オート麦はいつも彼女を燃やしてしまったと言いました。誰かが潰瘍を患ったことがあるなら、あなたはそれが何であるかを知っています。それで彼女は手を伸ばしてそれらのオート麦を数回噛みました。「ああ、私の」と彼女は言いました、「私はその代金を払わなければならないでしょう、私は思うが、これらの日のいずれかで私は大丈夫になるでしょう。」しかし、彼女はまだお腹が空いていることに気づいたので、料理を完成させました。彼女は数分待って、何が起こったのか見てみましょう。何も起こりませんでした。気分は良く、まだお腹が空いています。彼女は卵を数個揚げ、コーヒーを注ぎ、乾杯し、本物の歓喜を味わいました。彼女は食べられるものを全部食べた。彼女は皿洗いをし、約30分後、再びお腹がすいた。悪影響はありません。

彼女は小さなボンネットを着て、通りを下ってこの隣人の家に入った。そして、彼女がそこに着いたとき、彼女は聞いた、彼女はおそらく家族に死があったと思った。彼らは叫び、叫び、歩き回っていました。その女性はその朝遅く寝ていて、彼女の首にある成長を探して起きました、そしてそれは夜の間に消えていました。それは何でしたか？ 神が働いています。

51 ここキャドルタバナクルで、私たちがその集会を開いたとき、そこにやって来て祈られたその不自由な少年。あなた方の多くは彼に会うためにそこにいました。彼らは彼をその緊急室に連れ戻しました。ビリーは私を彼に連れて行った。彼らは彼をプラットホームの建物の中に3、4泊しました。彼は祈りのカードを受け取らなかった、彼らは彼を緊急室に入れました。私は入って彼のために祈り、彼を見ました。彼は言い

ました ブラナム、慰めを教えてくださいませんか?」

私は言いました「はい、息子さん。ポリオはあなたをこのようにしてくれました。」

彼は「そうです」と言いました。

私は言いました「あなたの名前はそんなものです。あなたは特定の場所から来ました。」

「そうです」と彼は言った。彼は「私の癒しはどうですか?」と言いました。

私は「彼の縞模様によってあなたは癒されました」と言いました。

彼は家に帰り、証言し、神を賛美しました。そして彼はそのような非難をもたらした、と彼らは主張している、ある日曜日まで、ミニスター達のグループが彼のそばに来て座って言った、「あなたはそれをやめなければなりません。あなたは大義に非難をもたらしています。」

52 そしてそこに座っている青年は言いました、「先生、もしあなたが私がいるところに座っていたら、あなたが私が座っている椅子にいたなら、あなたは私がキリストにおいて得た最後の希望を私から奪おうとはしないでしょ。」「彼の縞模様によって私は癒された」と言いました。そして、彼はそれを言ったに過ぎません...そこに座って、足、手、体、背中が麻痺しました。そして、彼はそれを言っただけで、椅子から出て、神を賛美しました。

なに? 彼の自然な感覚は彼がそこに座ると言った。医者には彼が永遠に、または彼が生きている限りそこにいると言いました。しかし、第六感「彼の縞模様によって私は癒された」と言っています。そして、彼は何もすることがないでしょう...それは神が言われたことに反してすべてを捨てています。それが第六感です。

53 古いジョン・リン、R-y-a-n、R-h-y-nではありません。ウェイン砦には盲目の乞食がいました。私たちがその日に行った場所で、彼は集会で祈られました。それは、ピアノが誰もいない状態で「偉大な医師がもうすぐ近くにいる」を演奏する前の夜でした。そして彼が盲目だったとき、彼は信仰によってカトリックでした。そして彼は列に並んで立ち止まり、私は彼を見て、「あなたの名前はまあまあ、ジョン・リンです」と言いました。

「はい。」

「あなたは角に座っている乞食です。あなたは何年も盲目でした。」

「はい、そうです。」

「信仰によって、あなたはカトリック教徒です。」

「そうです。」

私は言いました、「主はこう仰せになられる、あなたはあなたの癒しを受けとります。」

「ありがとうございます。」と言いました。

私は「主に感謝しなさい」と言いました。

彼は「でも見えない」と言いました。

私は言いました「それはそれとは何の関係もありません。あなたは癒されました。」

そして彼は言った、彼は一緒に降りた、彼らは彼がプラットホームから降りるのを手伝った。自然人は何も見えませんでした。彼らはそれからの結果を全く見ることはできませんでした。「なぜ」と彼は言いました、「彼はかつてないほど盲目です。」

54 それで、彼の友人の2人が彼を連れ戻し、再び祈りの列に入れ、彼を再び走らせました。ハワードは彼を通過させました。彼が再び戻ってきたとき、彼は「先生、あなたは私が癒されたと私に言った」と言いました。

私は「あなたは私を信じていると言った」と言いました。

彼は言いました、「私はあなたを信じています。あなたを信じない理由はありません。」「あなたは私の人生のすべてのことを私に言った」と言いました。そして彼は「どうしたらいいのかわからない」と言いました。「数分前に甲状腺腫があったことを証言する女性がそこにいました、そしてそれは消えました。」と言いました。

私は言いました「それなら、あなたが私を信じているのなら、なぜあなたは私に質問しているのですか？ 私はあなたに神の言葉を話しているのです。」

彼は言いました、「私は何をしなければなりませんか？」彼がカトリックであり、彼が握ることができる何か物理的なものを持たなければならないことを知って、私は言いました、「ただ証言し続けてください、『彼の打たれた傷によって私は癒される』そして彼を賞賛します。」

55 その老人は、次の2週間か3週間、角に立って書類を売ったので、「もっと、もっと！ 主をたたえよ、私は癒されました！ もっと！ もっと！ 主をたたえよ、私は癒されました！」

彼が次の夜の集会に戻ったとき、私は彼のためにほとんど説教することができませんでした。彼は立ち上がって大声で叫びました。私を癒してくださった主をたたえよ！ 私を癒してくださったことを主にほめたたえよ！」カトリック教徒として、彼は信仰を握る方法を知りませんでした。彼はそれを言い続け、その第六感が機能するまで続けられ、続けられ、続けられたかどうかを知っていました。そうです。「私を癒してくださったことを主にほめたたえよ！」

彼は隅に立って叫びました。「私を癒してくださったことを主にほめたたえよ！ もっと！ 私を癒してくださったことを主にほめたたえよ！」

彼は通りを歩いていて、そこに誰かが「お元気ですか、ジョン？」と問いにきました。

「私を癒してくださったことを主にほめたたえよ！ 分かりますよね。」そして彼らは彼を笑い、彼をからかった。

56 そして、別の小さな新聞配達の子が、集会から約2、3週間後に、剃るために彼を理髪店に連れて行きました。そして床屋は彼を椅子に置き、顔を泡立てた。そして彼は「ジョン」と言いました、「わかりました...」少し賢い口調で、彼は言いました。。」

彼は「はい、私は降りました」と言いました。

彼はただ彼をからかうために「あなたが癒されたことを理解しています」と言いました。

そして老人は「はい、主をほめたたえよ、主は私を癒してくださいました」と言い、目を開けました。彼はその理髪店の椅子から、首にタオルを巻いて出かけました。床屋はかみそりを手に持って彼を捕まえようとしています。そして通りを下って彼らは行きました！ なぜですか？ 神の言葉はうまくいきました。

57 リトル・ジョージ・カーターが反対側に横になっている時、皆さん、ご存知のように、ここの近くにおいて、9年8か月間横になっている人もいます。彼女の下から、腎臓と腸からドロシートを引っ張るしかないので。彼女の体重は約35ポンドでした。インディアナ州ミルタウンに横たわっています。そして彼女の民は教会に属していました...私がミルタウンバプテスト教会で集会を開き、病人のために祈ったとき、その教会は言いました、「この会衆の誰かがその狂信者に出席するなら、私たちは知らせますそれら。」そして彼女の父親は執事でした。

しかし、彼女は私の小さな本「イエスは昨日も今日もいつまでも変わることがない」を手に入れました。ある日の午後、ホール兄弟が私を彼女に連れて行ってくれました。彼女の母親は家を使い果たした、それとは何の関係もないでしょう。私は入って彼女のために祈りました。「まあ、あのナレの女の子はどうですか？」と言いました。彼女はそのビジョンについて知っていました。

私は言いました「それはビジョンでした、姉妹。私は祈ることしかできません。あなたには信仰があります。」かわいそうなことはそれに対して教えられていました。

58 その数日後、私はバプテスマを授けてそこに立っていました。彼女はそこにいて泣いていた。神が彼女を癒すだけなら、イエス・キリストの名によって、彼女は来て再びバプテスマを受けると約束していました。

そしてそこには、ほうきの柄ほどの大きさの彼女の小さな古い足があります。彼らは彼女を便器に乗せ

ることさえできませんでした。彼女の母親は、まだ若い女性でしたが、そこに座っていて、そこに横たわっている娘がインチ単位で死んでいくのを見て、麻痺して頭が白くなりました。女性の腺の結核、そして彼女をずっと通り抜けました。彼女の体重は約37ポンドだったと思います。彼らは彼女を判断しました。便器を彼女の下に置くのに十分な高さまで彼女を持ち上げることができませんでした。彼女の下からゴム製のドロシートを引っ張らなければなりません。9年8か月、彼女はそこに横たわっていましたが、窓際にある木を見るために頭を上げることさえできませんでした。

59 ある日、ジョージ・ライトの丘の中腹に立って、聖霊が私に「立ち上がってください」と言いました。そして私は見ました、そしてハナミズキの木を通して降り注ぐ光がありました、「ライトの道で行きなさい」...または「カーターの道で行きなさい」と言いました。

私がそこに着いたとき、主イエスは私が来るというしるしを母親に示していました。そのベッドに横たわっているあの女の子の中に入ったので、彼女は睾丸カップを上げることさえできませんでした。彼女の母親はそれを持って、「ええと」、結核で唾液カップに唾を吐こうとしました。私は言いました。「神の子であるイエス・キリスト、ジョージ姉妹は、30分ほど前に荒野の向こうで私に会い、あなたに手を置くようにと私に言いました。しゅがこうおおせになられる、立ち上がって下さい!」

60 第六感が働き始め、その少女に力が3年ぶりに襲い掛かった...あるいは、9年8ヶ月間、彼女は立ち上がって立ち上がって庭に駆け込み、木々や草などすべてを祝福し、ピアノの前に座って「インマヌエルの静脈から引き出された血だらけの泉があります」と演奏を始めました。

なぜですか？理由は打ちのめされていただろう…。

彼女はそれをするのができませんでした。今はわかりません。私は決して知りません。彼女を支えた神の力だけ。彼女の足は、この関節のあたりではそれほど大きくありませんでした。ほうきのように...のようなものは何もありません。それは12年前、つまり14年前のことでしたが、今日、彼女は強く健康で、主イエスのために行っています。

それは何でしたか？初めて、何も起こらなかったように見えたが、推論はそれが起こり得ないと言ったでしょう。しかし、兄弟、彼女はのみことばを握っていました。神がその不自由な少女をセーラムに連れて行くことができれば、そのナレの少女は不自由で麻痺していて、彼女の腕がそのように垂れ下がっていれば、彼女を癒すことができ、神も彼女を癒すことができました。彼女はそれを信じていました。

61 ホール兄弟、向こうに横たわり、癌で死にました。同じ男が私をそこに連れて行ってくれました。ミルタウンの彼の医者、彼は彼をこのセントエドワード病院にあるニューアルバニーのこの医者に送りました。私は忘れていますが...彼は私の子供たちを連れてきました。立派な人、いい医者。彼は彼を調べて、「癌」と言いました。ミルタウンにいるブラウン博士に言った、「彼は死にかけている」。ブラウン博士は「そう思った」と言った。

コップ氏の親戚である彼の妹のところまで彼を連れて行き、かつては市内の裁判官でした。そして彼らがそこに降りたとき、「彼が死ぬまで彼をここに留めておいてください」と言いました。

62 そして、彼らは私に降りてくるように送りました。私は毎日、妻と一緒にそこに戻りました。ホール兄弟のために祈りました。私は彼を愛していました。彼は私のキリストへの改宗者の一人でした。そして、彼はどんどん低くなり、手を動かすことができませんでした。

ホール夫人は「ビリー、何かできることはありますか?」と言いました。

私は言いました、「私が知っていることは何もありません、ホール姉妹。主からの言葉が聞こえません。」私は「医者に見てもらいたい」と言いました。

「あなたの医者は誰ですか?」と言いました。

私は「サム・アデア博士」と言いました。

そして私はサムに電話しました。サムは言いました、「唯一のこと、私は彼をビリーのルイビルにX線と物事のために送ることができます。」「私はあなたに報告をします」と言いました。彼らは救急車を送り、彼を迎えに行き、彼を連れて行きました。戻ってきてください。

63 サムは私に電話してきて、「ビリー、彼は肝臓の癌にかかっています。私たちは彼の肝臓を切り取ることができません、彼は生きています。」「彼は説教者です。彼は今大丈夫なはずです。あなたは彼に彼が行くと言った方がいいでしょう。」

私は言いました、「彼は行く準備ができています、サム。しかし、それは、私は彼が行くのを見るのが嫌いなのです。彼は私の兄弟です、そして私は彼を愛しています。」

そして、「神よ、私のために何かしてください」と思いました。

その朝、私はリス狩りに行き始めました。私は前日に外を見ました、誰も庭に出ていませんでした。私のライフルを手に取り、家の中を歩き始めました。壁には頑丈に見える古いリングがぶら下がっていました。「なぜメダが壁に貼ったの?」と思いました。私は彼らのうちの6人がそこにぶら下がるまで、そして次々と見ました。私は帽子をけいれんして、床にひざまずきました。そこを見上げると、大きくて美しいリングが降りてきて、それらすべてのリングを食べてしまいます。私はその上に立っているのを見ました、そして同じ光(向こう側の絵の後ろにぶら下がっている)がそこに立っていて、周りを練り歩きながら言いました。ホール氏に「主がこう仰せになられる、彼は死ぬことなく生きるだろう」と言いに行きなさい。

私は降りて彼に話しました。彼も違いはありませんでしたが、彼はそれを信じていました。彼はそれを握った。違いはなかったようです。1日が経過しましたが、違いはありません。2日目、違いはありません。3日目くらいから始まりました。そして、ここで彼は何年も何年も経った今日、生きています。

64 私が間違っていなければ、ウィーバー夫人、ここに座っていることに気づきました。彼女の娘が来たとき、マージョー・モーガンが癒された後、私はそこに行きました、そしてその女性にできることは何もありませんでした。彼女は次の数時間以内に死んでしまうでしょう。彼らは1つか2つのショットを持っていました、彼らは彼女に与えることができました、そしてそれはすべてでした。彼女は女性の手術を受けており、癌が彼女の背骨を通り抜けていました。彼らは手術時にそれを散らし、女性には何の関係もありませんでした。私は彼女に癒しについて話したかったのです。

しかし、彼女は言いました、「先生、あなたは主なる神のミニスターであり、私はあなたが私の家に来るのにふさわしくありません。」ミニスターが来るのにふさわしくない自分を数える。彼女は言いました。「私は人生を生きてきました。私は踊り、すべきではないことをしました。悪い言葉などを使ったことがあります。」彼女は私に自分の罪を言いました、そして彼女は「私はそれに値しない」と言いました。

65 私は彼女が正しい線を打っているのを見ました。彼女はその第六の前にここにキリストを入れなければなりません、超感覚は仕事に行くでしょう。

私たちはひざまずきました。私は彼女に「あなたの罪は緋色のように赤いですが」について話しました。彼女は主イエス・キリストに命を捧げました。そして彼女がそうしたとき、彼女は言いました。私に何かが起こった。私に何かが起こった。皆さんと握手したいです。」

そしてちょうどその時、私は外を見て、家の後ろに鶏小屋に戻って、彼女が幻の中にいるのを見ました。私は言いました ウィーバー、主なる神はこう言われます、あなたはその鶏小屋に旅行し、あなたは生きるでしょう。」

66 彼女は自分が感じた方法で行くことができませんでした。癌が彼女を食い尽くしていた。彼女は医者が言ったことを通り抜けることができなかった。彼女は死にかけていました。そして、それは14年、15年前のことだと思います、ウィーバー夫人? [夫人 ウィーバーは「14」と言います。] 14年前。彼女は病気のときにこの幕屋までよめきました。彼女はベッドから出ることができたようには見えませんでした、少し古い骨の腕。彼女は神に来て、イエスの名によってバプテスマを受けると約束したからです。私たちは彼女を車椅子から拾い上げました、ほとんどそこに...または、椅子で、彼女をプールに降ろし、イエスの名で彼女にバプテスマを授けました。そして今夜、彼女はそこに座っています。あなたが健康の種を見たいならば、彼女を見てください。なぜですか? 第六感がうまくいったので、推論や科学的研究、その他すべてを捨てる。それだけです。

67 ほら、ちょっとだけ、これをもう一度言いましょう。イエスは一度木を通り過ぎました、そしてそれはイチジクの木でした。そして彼はイチジクの木を見ました。さて、これをお見逃しなく。彼はイチジクの木を見ましたが、イチジクはありませんでした。そして彼は言いました....彼は木を呪って、「だれもあなたから食べない」と言いました。

弟子たちは周りを見回しました。木はいつものように見えました。それから1時間経っても、それはまだ同じように見えました。神は地球を決して開かず、飲み込んだことはありませんでした。神は二股に分かれた稲妻を空から送り、それを木炭に燃やすことは決してありませんでした。彼はそれをすることができたでしょう。確かに彼はできた。彼はそれらのことを決してしませんでした。

何が起こったのですか？ その木は呪われていた。神の信仰はその木の命に逆らいました。あなたが見ることができる物理的なものは何もありませんでした。しかし、地中、木の根元に、死が迫っていました。それは呪われていました。第六感はそれに反対していました。それは死ななければなりません。それは根から死に始めました。

68 それは癌でも同じことが起こります。それは腫瘍でも同じことです。それは、主なる神の第六の力の感覚がそれに逆らって立ち上がるとき、どんな病気でも同じことが起こります。「サタンよ、そこから出てきなさい」と言いました。あなたはすぐに体調が起こらないのを見ないかもしれませんが、その信仰はそこでも同じように保たれています。呪われています。その第六感はしません...その超感覚はそれを手放すことはありません。それはあなたがどのように感じるか、あなたがどのように見えるか、あなたがどのように行動するかに注意を払いません。それとは何の関係もありません。神の言葉が適用されました。第六感はそれをつかみます。それだけです。彼女は仕事に行きます。癌は減少し始めます。それは根から死に、そしてそれはなくなっています。確かに。

69 この同じ力強い第六感によって、王国は崩壊し、ある壁を別の壁にぶつけました。

この第六感によって、紅海は押し戻され、乾いた地面は神の子供たちが逃げる道を作りました。

この同じ第六感によって、サムソンは鎧と槍で武装した千人のペリステーンに逆らいました。彼には自分を守る方法はありませんでしたが、野生のラバの顎の骨がありました。そして、その第六感がうまくいき、彼は千人のペリステーンを打ち負かしました。ハレルヤ！

この第六感によって、死者はよみがえりました。この第六感によって、強大な奇跡が行われてきました。

それはこれまで地球を襲った最も強力な力であり、第六感と呼ばれるその超感覚です。ここではこれとは何の関係もありません。ここでこれを宣言して「アーメン」と言ったら、大丈夫、あなたは先に進んでいます。しかし、これが何をやるかに関係なく、それを信じてください。力があるところがあります：「あなたが自分の心を信じるなら」。あなたの第五感、思考はあなたの脳の中にありますが、あなたの第六感あなたの心の中にあります。あなたは心で信じています。心で信じて、口で告白するのです、そうです、その第六感、その強力な力。

70 聞いてください、その第六感のために、ライオンの巣に投げ込まれた預言者がいました。そして、その第六感のために、ライオンはダニエルを食べることができませんでした。彼らは彼に近づくことができませんでした、その第六感、その超感覚のために。

同じ第六感によって、3人のヘブライ人の子供たちが火の燃える炉に投げ込まれ、彼らは炉の炎に逆らいました。その第六感！すべての推論は、彼らがそれに到達する前に彼らが焼け死ぬことを証明するでしょう、しかしその第六感彼らをそこに2、3時間とどまらせました。そして、彼らが炉を開けたとき、彼らは神の御子のように彼らの間に立っている方を見ました。それが第六感です。火はそれを燃やさないでしょう。はいそうです。

71 使徒ペテロが刑務所に横になっていて、翌日彼らが彼の前に立つのは、同じ第六感でした。そしてヨハネマルコの家で彼らは祈りの集会をしました。その第六感、彼が祈りで覆われていたその刑務所の周りに蓄積し始めます。その第六感がうまくいきました。火の柱が窓からやって来てペテロに触れ、「さあ、ここから出なさい」と言いました。第六感！

その小さな船が水浸しになったとき、使徒パウロがその強大な海で溺れることを許さなかったのはその第六感でした。彼が溺れるのを防いだのは第六感、その超感覚でした。蛇が手に噛んだとき、火の中でそれを振り落としたのはその第六感でした。それをしたのは第六感でした。

72 イエス・キリストが地に落ちた後、神の言葉を信じたので、イエス・キリストを死からよみがえらせたのはその第六感でした。「この体を破壊してください。3日目に再び持ち上げます。ダビデが言ったのは、「私は聖なる者を離れて腐敗を見ることも、彼の魂を地獄に残すこともしない」と言ったのです。それはその超感覚

でした。これらの感覚の推論を捨ててください。イエス・キリストが与える超感覚、信仰の感覚を信じてください。

同じ意味で、神は何もないときに語られました。その意味は何ですか？ その超感覚は神であり、あなたへの神の信仰であり、あなたの中に来てあなたに超感覚を与える神の部分です。その同じ超感覚によって、神は現れなかったものと現れなかったものと一緒に世界を組み立てました。彼は彼の言葉を話し、彼の言葉を信じました、そして世界は存在に揺さぶられました。栄光を！

73 神よ、第六感、超感覚、それを私に注いでください。私とそれを必要とするすべての人にそれを与えてください。主よ、あなたの第六感を私に注いでください。主よ、私はこれらの5つ、私自身の知識、考えを放棄し、すべての推論を捨てていく所存です。あなたの言葉を真実とし、すべての人の言葉を嘘としましょう。すべての推論、すべての疑いは捨てられ、私に超感覚、聖霊の感覚によって歩かせてください。

あなたはそれをしたくないですか？ それが私たちが望んでいることです。神はあなたを祝福します、友よ。それがあなたに必要なものです。その超感覚は何かを求め、それは彼がそれを与えることを知っています。それは説得されました、「神に来る彼は彼が彼であると信じなければならず、そして彼を熱心に求める人々の報酬者である」。

74 第六感が言うなら、「神は御言葉を守られます。私は彼に身を捧げます。私は得たものすべてを彼に委ねます。私の感覚は、これがそれを実現させると言っています、神の言葉への私の信仰」そしてそれとは反対に、そうではなかったかのように他の何かを呼びます。

アブラハムは神に会いました、そして神は「あなたはサラによって赤ん坊を産むつもりです」と言われました。そして彼は75人、そして彼女は65人でした。アブラハムはそうではなかったすべてを、そうではなかったかのようにそれとは反対であると呼びました。彼はまるで神を見ているかのように歩き、信じました。

彼は自分がそうではないと言ったもの、推論、その他の何かを呼ぶでしょう...医者「なぜ、アブラハム、あなたは年を取りすぎてそれをすることができない」と言ったかもしれません。それは医者が言ったこと、他の誰かが言ったこと、彼自身の心が言ったこと、他の誰かが言ったことに少しの違いはありません。神は正しかった、そして彼はそれにとどまった。

75 それが第六感、超感覚です。神よ、それを私にください。神よ、私にそれをもっと持たせてください、彼の民に仕えることは私の祈りです。

今朝、その母親が赤毛の小さな赤ちゃんをここに立って連れてきたとき、涙が彼女の頬を流れ落ちていました。私は「どうしたんだ、姉妹？」と言いました。

彼女は言いました、「ブラナム兄弟、白血病にかかっています。」何か起きていたのを感じました。ああ、彼は悩みの時のいと近き助けである。

76 ここで少し前に、ビリーと私は運転して道を進んでいました。何人かの色のついた男の子が道を下りてきて、彼らは速く走っていました、そして彼らは車を横に振って、ぐるぐる回って、そして道中に男の子を投げました、そして一人の小さな男が彼の背中を車に向けて車の下に固定されました。男の子たちは飛び出して、それを上げ始めました。彼は言いました、「ああ、しないでください、私の背中が壊れています！しないでください！あなたは私を殺します！あなたは私を殺します！しないでください！」

そして彼らは言いました、「ああ、私たちはあなたからそれを取り除く必要があります。火がついていません。」

「動かさないでください。あなたは私をつぶして死にます！しないでください！しないでください！」

私はその下で「息子、あなたはクリスチャンですか？」と叫びました。

彼は「いいえ、先生」と言いました。

私は「祈ったほうがいい」と言いました。

彼は「はい、先生」と言いました。

第六感が働き始めました。車のすぐ後ろを歩き回ったので、判決が出るまではわかりませんが、突然、

その車がフリックして降りてしまい、飛び上がって大丈夫でした。それは何でしたか? 「悩みの時のいと近き助け!」

77 私たちはそこから降りてきました...若い色の女性が道路で車を運転していました、新しいプリマス、その上で約400マイル。彼女はかなり良い速度で運転していた。そして、私は車を見ました。それはクランクケースのシャフトを木の中にずっと押し込みました。ビリーと私は立ち止まりました。私たちの前には雪に覆われた滑らかな道がありましたが、その時は乾いていました。少女...ミネソタでは、車が吹き飛ばされるまで風が強く吹いていました。ビリー、覚えている? 私はそこに駆け寄って彼女に行きます。そしてそこに、彼女はそこに座っていました、彼女は言いました、「ああ、私は死にかけています。私は死にかけています。」彼らは救急車を呼んだ。

救急車が来て、救急車の後ろに死んだ男が横たわっていました。「私は彼女を連れて行けない」と言いました。

それで農夫は言いました、「まあ、他の誰かを急いで送ってください。女性は死にかけています。」

私はそこまで歩いて行き、「ご婦人、ちょっと待って下さい」と言いました。

彼女は言いました、「ああ、私に触れないでください。私に触れないでください。私の背中!」

私は「ご婦人、あなたはクリスチャンですか?」と言いました。彼女は私を見ました。そして私は言いました、「私は福音の牧師です。あなたが死にかけているのなら、あなたと神との関係はどうなっていますか?」

彼女は言いました、「先生、私は今直ぐほしいです。」

そして、第六感が働き始めました。神の力が降りてきました。彼女は誰も助けなくても車から降りることができた。神の力、現在! 「問題が発生したときの現在の助け。」

私たちは信仰によって歩みます。私たちは信仰によって生きています。「義人は信仰によって生きる。」私たちはそのように生きなければなりません。第六の超感覚をもっと持ちたいと思う人はどれくらいいますか?

それでは、祈る間頭を下げましょう。

78 尊い主、我らの神、我らの父よ、あなたは私たちにとってとても良い方です。あなたは私たち、この地球のそばに住み、通り過ぎる、この地球に触れる、または地球に触れるための五感を与えてくれます。感じるべきことを手で、具体的なものを感じることができます。あなたは私たちに聞くことができるように聞いてくれます。私たちはそれをとても嬉しく思っているので、神の言葉を聞くことができ、それによって「信仰は神の言葉を聞くことによって来る」のです。主よ、私たちはこれらの六感に感謝しています。私たちが生涯を通じてそれらを維持しますように。

しかし、彼が信じるためにそれを持たなければならないので、この超感覚、信者に属する信仰の感覚がありますように。主よ、私たちにもっと与えてください。ああ、主よ、それを一掃し、私たちを試して、あなたの善とあなたの力で私たちを満たしてください。イエス・キリストによってのみ与えられた第六感、信仰感によって、私たちの人生のすべての日を歩きましょう。私たちが祈ること、私たちがそれを受け取ったと信じ、私たちの心に疑いの余地がなく、あなたがそれが実現することを約束されたことを。

主よ、手を挙げたこれらの人々のために祈っています。彼らにはニーズがありました。あなたは彼らが何であったか知っています。私はあなたが彼ら全員を通過させるように祈ります。彼らの願いが叶いますように。イエス様の御名でお願いします。アーメン。

79 父への信仰、息子への信仰、

聖霊への信仰、これら3つは1つです。

悪魔は震え、罪人は目を覚まします。

エホバへの信仰は何でも揺さぶられるでしょう。

聞いたことがありますか? さて、音楽なしで、ちょっと待ってください。

父への信仰、息子への信仰、
聖霊への信仰、これら3つは1つです。
悪魔は震え、罪人は目を覚まします。
エホバへの信仰は何でも揺さぶる。

！

80 そうです。ああ、凄い！ 尊い信仰！ 尊く輝かしい信仰。神よ、私に信仰を与えてください。「信仰によって、アブラハム。信仰によって、イサク。信仰によって、アベルはカインよりも優れた捧げものを神にささげました。彼は既に死んでいるが、今も語られている。」ああ、なんと信仰が必要なのでしょうか！ 私は彼が大好きです。もっと信仰が欲しい。この人生、そして来るべきこの新年への私の願いは、神へのより多くの信仰です。神よ、もし何か問題が生じたとしても、私の心にある疑いを取り除いてください。サタンは私に向かって戦い、あなたに向かって戦い、矢を放とうとします。しかし、悪魔の罵倒に耐え、彼の燃えるような矢をたたき落とすために、いつも私の前にその信仰の盾を持っていてくださいますように、それが私の誠実な祈りです。神はあなたを祝福します。

ネヴィル兄弟、何か言いたいことがありますか？

[ネヴィル兄弟は、「いいえ、ただ……」と言います。]

さあ。

[ネヴィル兄弟が発表、証言、そして最後の祈りをします。]



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7